

発言 順位	質問者	質問の件名	質問の要旨	時間
1	橋口好文 〔11〕	1 農業振興について	(1) 農作物の鹿による被害対策について ア 猟友会の会員数、平均年齢と本年の捕獲頭数を問う。 イ 電気柵設置に対する助成への要望が上がっているが、市の認識を問う。 (2) 農作物の生育状況について ア 7月の高温、干ばつ(少雨)、台風13号による農作物生育への影響を問う。 (3) 生産資材高騰に対する助成について ア パッションフルーツ、レザーリーフファン栽培へのハウス資材等への助成を行っているが、同様に他の作物栽培ハウス資材等への助成を求めるがいかがか。	(60分)
		2 財産管理について	(1) 市営グラウンドの国道に面した法面には雑草が生い茂っており、そこに設置している看板なども雑草に覆われている状況である。国道から多くの市民の目に付く場所でもあるので、市民体育祭の時期だけでなく、普段からこまめに手入れしていただきたいが、市の認識を問う。 (2) 消防署交差点からわかさ公園に上がる道のわかさ公園側に桜が植樹されており、そこに防風ネットが設置されているが、支柱が傾いているなどして用を成していない状況である。管理の現状について市の認識を問う。 (3) 喜志鹿崎灯台に展望用の双眼鏡が設置されているが、双眼鏡より西側(左側)は樹木や草木により眺望がさえぎられている。管理の現状について市の認識を問う。	
		3 プレミアム商品券について	(1) 抽選販売の結果を問う。 (2) 公平性について市の認識を問う。	
		4 鹿児島医療技術専門学校 種子島サテライト教室について	(1) 令和9年度の募集定員数と、入学希望者数を問う。	
		5 馬毛島問題について	(1) 川迎地区の自衛隊宿舎建設及び馬毛島問題について ア 今年1月、ごみ処理費用を市の負担とする覚書を締結していたことについて、議会に報告しなかったことは議会軽視ではないか。 イ 馬毛島に残っている緑地は島全体の何%か。 ウ マゲシカの生息頭数を問う。 エ 隊員宿舎建設の再着工の時期を問う。 オ 地中から出たごみの処理開始時期を問う。	

発言 順位	質問者	質問の件名	質問の要旨	時間
2	小坂圭吾 〔 9 〕	1 電子地域通貨たね P a y の制度的課題 及び改善提案について	(1) 令和 8 年度プレミアム付き商品券事業の結果と行政の認識について ア 紙の商品券とたね P a y の申込状況について伺う。 イ 利用可能店舗数・利便性の差について伺う。 ウ 利用者の選択行動の分析について伺う。 (2) 選択式にした判断について問う ア 第 2 回定例会での指摘を踏まえた検討状況について伺う。 イ 紙の商品券とデジタルの商品券の選択式にした理由について伺う。 ウ 市がこれまで掲げてきた“たね P a y 推進”との整合性について伺う。 エ たね P a y 利用者・事業者の努力への評価について伺う。 オ 今回の結果を『市場テスト』としてどう評価するか伺う。 (3) たね P a y の制度改善の方向性について問う ア 財政負担の構造的課題への対応について伺う。 イ 地域通貨の本質は単なる支払手段の置き換えではなく、利用者の行動変容（新規来店や利用頻度の増加）にあると考えるが、市の見解は。 ウ 市民の生活動線に沿った加盟店拡大の優先順位について伺う。 エ 島外資本のスーパーでの利用拡大の可能性について伺う。 オ たね P a y の制度改善を、島内循環に固執するのではなく、島外資本店舗も含めた“実効性ある循環”を検討すべき段階に来ていると考えるが、市長の所見を伺う。	(60分)
		2 有人国境離島法延長を踏まえた帰島支援 と準住民制度の拡充について	(1) 有人国境離島法の目的と本市の位置づけを問う。 ア 法の基本目的について、市の認識を問う。 イ 本市が法の対象地域としてどのような課題・強みを持つと捉えているかを問う。 (2) 延長に伴い追加された「滞在型観光促進」への市の評価を問う。 ア 新規項目が本市の産業・人口動態に与える可能性をどう見ているか。 イ 本市として活用可能な領域をどこに見出しているかを問う。 ウ 延長を踏まえ、市として新たな制度拡充案を検討したか。	

発言 順位	質問者	質問の件名	質問の要旨	時間
			(3) 離島カード準住民制度（就労枠）の拡充を問う。 ア 現行の準住民制度（学生・介護）の運用状況を問う。 イ 地場産業（農業）の人手不足と帰島支援の必要性について市の認識を問う。 ウ サトウキビ・米などの収穫期に、島外在住の家族が帰島して農作業を支援している実態把握について、市の認識を問う。 エ 就労枠の制度設計の可能性について問う。	
		3 観光振興に向けた二次交通の確保と日本版ライドシェア導入について	(1) 二次交通の確保と今後の検討状況について ア 観光地としての二次交通の必要性について問う。 イ レンタカー・タクシー不足の実態把握について問う。 ウ 二種免許保持者の状況と地域資源の活用の可能性について問う。 エ 日本版ライドシェアの導入の可能性について問う。 オ 観光振興と二次交通の確保を一体で進める必要性について、市長の見解を求める。	

発言 順位	質問者	質問の件名	質問の要旨	時間
3	濱島明人 〔7〕	1 本市における大地震発生後の対応・対策について	(1) 本市は友好都市・姉妹都市と災害協定を締結しているが、どのような協定内容か。	(70分)
			(2) 地震の影響で港が使えない場合や、地震発生後、荒天で貨物船の欠航が続いた場合を想定した物資供給の対策は、どのようになっているか。また、本市の燃料（ガソリン・軽油・灯油）の備蓄量は何日分か、把握しているのであれば教えていただきたい。	
			(3) 食料・日用品・燃料・重機・仮設トイレ等の提供について、民間事業者との協定は締結されているか。未締結の場合は協定を締結すべきと考えるがいかがか。	
			(4) 指定されている避難所で、エアコン等の空調が未整備の施設はあるか。また、震災後被災された方の熱中症・防寒対策はどのようになっているのか。	
			(5) 令和 8 年熊本地震で雨対策のため屋根を覆うブルーシートが利用されていた。本市でのブルーシートの準備はいかがか。	
			(6) 本市には12箇所の浄水場があるが、耐震・停電・インターネットが繋がらない等の対策は。また、震災後の断水時の給水対応は。	
		2 自衛隊員宿舎建設予定地の廃棄物混じり土の処理費用を市の負担とする覚書について	(1) 覚書締結の報道後、市民からの問い合わせや意見等があったか。	
			(2) 覚書を締結した理由は。また、覚書締結について議会への報告義務はないとのことだが、報告しないことが議会軽視であるとの認識はなかったのか。	
			(3) 令和 8 年第 2 回定例会で廃棄物混じり土の処理費用に係る予算が否決されていた場合、どのように対応する予定だったのか。また、なぜ予算可決後に覚書を締結しなかったのか。	
			(4) 新聞のコメントで「混乱を招かないように伝えなかった」とあるが、混乱とは何か。予算が否決されるとの考えから伝えなかったのか。	
			(5) 土壌調査の結果、宿舎用地での建設中止となった場合、基礎部分の解体費用負担についての協議はなされているのか。	

発言 順位	質問者	質問の件名	質問の要旨	時間
		3 特定防衛施設周辺整備調整交付金（以下「9 条交付金」と国有提供施設等所在市町村助成交付金（以下「基地交付金」）について	(1) 9 条交付金を交付されるためには、特定防衛施設また特定防衛施設関連市町村としての指定を受ける必要があるが、指定される条件は。また、本市は指定されると考えているか。	
			(2) 9 条交付金と基地交付金はいつごろ交付されるか。	
			(3) 9 条交付金と基地交付金が交付された場合、長期振興計画に沿って交付金を活用する予定か。それとも交付金を前提としての別の各種事業計画を立てるのか。	
			(4) 9 条交付金の指定について「防衛大臣はあらかじめ関係行政機関の長と協議するものとする」とある。指定を受けるために市長として基地建設と運用に一定の理解を示していただけないか。	
			(5) 地元選出の県議会議員が、国に対して再編交付金交付終了後も新たな交付金を交付するように要望していた。県としては地元自治体からの要望を聞いて国へ要望するとのことだが、市は県に対してどのような内容を伝えたのか。	
		4 本市漁獲量減少による鮮魚店への影響について	(1) 漁獲量減少により鮮魚店は品揃えや客注品対応のため島外から魚介類を仕入れている。仕入れ時にかかる送料を助成していただけないか。また、漁獲量減少の原因は、馬毛島基地建設による漁業制限もあると考える。再編交付金を活用していただけないか。	
		5 ニガ竹栽培について	(1) 今年のニガ竹は不作だったが、ふるさと納税返礼品の対前年比は。	
			(2) 市長は出張時、ニガ竹をお土産としていると聞く。相手方の反応とニガ竹についての想いは。	
			(3) ニガ竹を安納芋のように本市の特産物として全国に広めるべきと考える。その為には耕作放棄地等を活用してニガ竹栽培をして生産・出荷量を増やす必要があることから、地域と協力してニガ竹の栽培実証実験を行っていただけないか。また、県の地域振興事業を活用するため、市が事業採択し、県へ働きかけていただけないか。	

発言 順位	質問者	質問の件名	質問の要旨	時間
4	河本幸男 〔10〕	1 この夏の観光状況について	(1) 第57回鉄砲まつりの開催にあたり苦勞したのではないかとと思うが。	(60分)
			ア 歓迎レセプションについて	
			イ 太鼓山について	
			ウ 南蛮行列について	
			エ 手踊りについて	
			オ スタッフについて	
			(2) 浦田海水浴場の状況について	
			ア 利用客の状況はどうなっていたのか。	
			イ 開設期間について	
		2 荒廃農地の解消について	(1) 今年度の荒廃農地の解消事業は、圃場整備部分の荒廃農地を解消するとのことであったが、どのような状況か。	
			(2) 個人が荒廃農地の解消を図りたいとの申請はないのか。	
			(3) 当初予算の審議の中で、全会一致で個人からの申請も予算化すべきとの、意見を付していたが何もしないのか。	
			(4) 市長はこのことについて、どう考えているのか。	
		3 市街地の拠点施設について	(1) なかなか進まない拠点施設であるが、どのような状況か。	
			(2) 造りたいと考えているのか。	

発言 順位	質問者	質問の件名	質問の要旨	時間
5	宇野裕未 〔5〕	1 防災・減災への取り組みについて	(1) 消防署の移転について	(70分)
			ア 移転の必要があると市長は考えているのか。	
			イ 検討委員会の実施状況について、説明を求める。	
			ウ 移転にかかる費用についてはどのような考えか、見解を求める。	
			(2) 備蓄体制と避難所環境の整備について	
			ア 令和 7 年第 1 回定例会にて、離島特有の長期孤立リスクを想定した「備蓄方法や想定規模、保管スペースの確保について検討が必要」との答弁でしたが、その後の検討状況はいかが。	
		2 介護施設の人手不足と要配慮者支援について	イ 指定避難所におけるエアコン未設置箇所への整備方針については、どのような状況か。	
			(1) 慢性的な人手不足について	
			ア 雇用支援実施後の現場の状況について、説明を求める。	
			イ 令和 6 年 3 月までに義務化された B C P の策定完了を受け、慢性的な人手不足が続く現場において、実務に即した計画のブラッシュアップ支援はどのように実施されているのか。	
			(2) 認知症高齢者等の要配慮者支援における個人情報の取り扱いについて	
			ア 地域包括ケアを推進する中で、迅速な要配慮者支援のルール整備はどのような状況か。	
		3 持続可能な地域インフラ整備について	イ 警察・消防・民生委員などの関係機関との横断的な情報共有と連携ネットワークが構築された中で、地域内見守り体制が強化されているか。	
			(1) 多世代交流施設整備における住民意見の反映について	
			ア 令和 7 年第 2 回定例会にて、各施設関係者や住民の意見を反映した実施設計の検討を進めるとのことであったが、どのような状況か。	
			イ 武道館の設置について、集約される施設機能と兼用可能な設計を要望したいが、いかがか。	

発言 順位	質問者	質問の件名	質問の要旨	時間
			(2) 都市公園整備について	
			ア 令和7年第2回定例会にて要望した、嘉永山公園の夜間照明設置、美浜公園駐車スペースの整備について、進捗状況はいかが。	
			イ わかさ公園の排水対策については、改善されたと認識しているが、遊具の劣化への対応など、利便性の向上についてはどのような計画か。	
		4 自衛隊宿舎建設について	(1) 「覚書」について	
			ア 現在の場所での宿舎建設続行については、確約されているのか。	
			イ 「覚書が交わされた場」があるが、「協議の場」はなぜ再開されないか。	
			(2) 費用負担について	
			ア 工事が中断してから現在まで発生している経費について、防衛省に確認されたか、もしくは説明はあるのか。	
			イ 市税を投入した以上、そのリターンについて、市長の説明を求める。	

発言 順位	質問者	質問の件名	質問の要旨	時間
6	松元秀樹 [14]	1 歴史文化課と歴史文化活用について	(1) 本年度新設された歴史文化課について、新体制となり行われた活動、また、これから取り組まれる活動の構想について伺う。 (2) 上西小学校、国上小学校で「松寿院」紙芝居会が開かれた。郷土の歴史・偉人に触れることで、子どもたちに愛着と誇りが育まれる。新設された歴史文化課に託す思い、これからの歴史文化活用について市長に伺う。	(70分)
		2 市行政業務におけるデジタル化活用について	(1) 西之表市HPにあるダウンロード用申請書について、書式がほぼPDFのみかエクセルも併用しているか、記入例も掲載してあるか等、課によって対応が異なる。HP・申請書の管理は各担当課が個別に管理しているのか。 (2) 市職員のエクセル等アプリケーションソフト習得の機会を設け、業務効率化を図る取り組みはされているか。	
		3 西之表市交通災害共済について	(1) 市は2050年には住民の約半数が高齢者になると推計されている。今後免許返納も進み利用頻度の高まるであろうシニアカーを交通災害共済の対象とすることが求められるのではないか。 (2) これから共済加入件数は更に減少し、事業継続は難しくなると考えられる。多額の基金の使途を含め制度変更が必要ではないか。	
		4 新型コロナワクチンに対する市民アンケート実施について	(1) 新型コロナワクチンは全国で副反応による健康被害の訴えが続いているが、未だ検証が充分ではないと考える。新型コロナワクチン接種に対する市民アンケートを実施できないか。	
		5 HPVワクチン定期接種について	(1) 西之表市において2022年からHPVワクチン定期接種・キャッチアップ接種について、それぞれの年度毎の接種人数を問う。 (2) 西之表市において2022年からHPVワクチン定期接種・キャッチアップ接種について、それぞれの累計決算金額を問う。 (3) 市政の窓7月号にてHPVワクチン接種を勧める掲載がされた。両論併記で、副反応のリスクについても市政の窓に掲載すべきと考えるがいかがか。 (4) HPV接種による副反応健康被害の訴えがあった時の市の対応・体制について問う。	

発言 順位	質問者	質問の件名	質問の要旨	時間
		6 西之表市新型インフルエンザ等対策行動計画について	(1) 西之表市新型インフルエンザ等対策行動計画について概要の説明を求める。 (2) 4頁「感染症に関する専門的な知識を有する者その他の学識経験者の意見を」について、意見が偏ることのないように、学識経験者の選別方法を問う。 (3) 25頁 ④ワクチン「ワクチンの接種は、感染や発症・重症化を防ぎ、患者数を減少させるなど」について、全てのワクチンが明確な感染予防効果を保証するものではない。誤解を与える表現ではないか。 (4) 38頁 1-3-2特定接種「市の地方公務員については(中略)集団的な接種を原則として」・47頁 3-2-1-1「地方公務員に対する特定接種の実施」について、特定接種は特定の職種(地方公務員)に対し接種をすべきという同調圧力を強いる仕組みではないか。医療従事者など関連職種へも広がるのではないか。当人の意思を尊重すべきと考えるがいかがか、見解を求める。	

発言 順位	質問者	質問の件名	質問の要旨	時間
7	橋口美幸 〔3〕	1 最高裁判決を踏まえた生活保護費の追加支給について	(1) 令和8年第2回定例会後の進捗状況について、件数などの説明を求める。	(70分)
			(2) 以前（その当時）受給していたが、現在受給していない人や、転居した人への対応について、どのように周知するか。	
			(3) 申請期間や必要な書類など、市の広報を活用するべきではないか。	
		2 学校体育館への空調整備について	(1) 近年の猛暑の中、教育現場となる学校体育館の空調整備は必須となっている。更に災害時の避難所としても位置付けられ、7月28日に発生した熊本地震では多くの住民が避難生活を余儀なくされている。文科省でも災害時の避難所となる学校体育館への空調整備について、令和17年度までに100%の空調整備を目標に掲げている。この特例交付金は令和15年度までの時限措置となっていることから、本市においても、計画策定を含め早急に取り組むことを求める。	
		3 障害者控除対象者認定制度の周知について	(1) 障害者控除対象者認定制度は、65歳以上の者で身体や精神に障害があるが、身体障害者手帳、療育手帳、戦傷病者手帳などの交付を受けていない市民を障害者に準ずる者として市が認定する制度であり、認定されれば、所得税、住民税、介護保険料の負担軽減につながる。この制度の周知はされているか。	
			(2) 対象となる可能性が高い者への周知を図るべきではないか。厚生労働省の事務連絡（「障害者控除対象者認定書の交付に関するQ&Aの追加・更新について（令和8年3月19日付）」）を参考に実施することを求める。	
		4 第10期介護保険事業計画について	(1) ケアプランの有料化も検討されているのか。	
			(2) 利用者負担の内容はどうなるのか。	
			(3) 介護危機を打開するためには、国の負担割合を10%引き上げることを自治体として要求するべきではないか。	
		5 馬毛島問題について	(1) 令和8年5月12日に防衛大臣宛て提出した要望書について、「2. 馬毛島及び種子島の良好な漁場維持のため、改変区域外を含めた土砂等の流出による海の濁りが生じないよう環境保全措置に万全を期すこと」と要望しているが、その要望に対する防衛省の答弁と、市の見解を求める。	
			(2) 市と国との負担覚書について、どのような経過で覚書を締結することになったのか、説明を求める。	

発言 順位	質問者	質問の件名	質問の要旨	時間
8	田添辰郎 〔1〕	1 職員採用の在り方とその育成について	(1) 職員定数と職員採用状況について簡単に説明してください。	(70分)
			(2) 試験区分において、一般行政職、農業技術職、土木技術職、建築技術職、保健師の5区分となっている。なぜこのような区分になっているのか。各区分において専門試験を行っているのか。	
			(3) 技術職に求める専門的知識、技能とは具体的に何か。また、採用試験において、その専門性をどのような方法で確認しているのか。	
			(4) 土木技術職については土木施工管理技士、建築技術職については建築士、保健師には保健師資格として認めている。一方、農業技術職には農業関係の資格要件がない。この違いについて、どのような考え方で受験資格を設定したのか。	
			(5) 技術職として採用された職員には、具体的にどのような専門的業務を担わせるのか。一般行政職との職務上の違いは何か。	
		2 奨学金制度について	(1) 若者が大学・専門学校等を卒業して地元に戻ろうとする際、大きな負担になっているものの1つが奨学金の返済です。本市には既に、卒業後に市内に居住し、市内で就業した場合、5年間の条件を満たせば奨学資金の全部又は一部を免除する制度があります。これは非常に有効な制度ではありますが、現在の利用状況はどうなっているのか。	
			(2) 一方で、現在の制度では、公務員として採用された場合には返還免除の対象外となっています。市内で働き、税を納め、地域社会を支えるという点では、市職員も市内就業者の一人です。なぜ、公務員を免除対象から除外しているのか。	
			(3) 公務員も民間企業に就業した人も給与を受けています。公務員であることだけを理由に除外する合理性について、どのように考えているのか。	
			(4) 私は、市職員についても対象にすることも含め、現在の奨学金返還制度「人材確保・定住促進策」として再構築すべきでないかと考えます。例えば、市内に居住し、島内の民間事業所または市役所等に就業した者について、一定期間の居住・就業を条件として、奨学金の全部又は一部を免除する制度に拡充する考えはないか。さらに、技術職として採用された職員には、支援を厚くするなどの配慮をすべきと思うが、どうか。	
			(5) 以前紹介した「うみがめ奨学ローン」等について検討はどうなったか。	

発言 順位	質問者	質問の件名	質問の要旨	時間
		3 「西之表市に自衛隊員・自衛隊員の家族が住む」ことについて	(1) 自衛隊員・その家族が西之表市内に居住することを、市長はどう評価しているのか。 (2) 自衛隊宿舎が市内に整備されることは、地域経済・雇用、人口、地域コミュニティ、災害時の対応などの面から、市にとって有益だと考えているのか。 (3) 現在予定されている場所での宿舎建設について、市長は現在も実現を望んでいるのか。 (4) 実現に向けて、防衛省との協議・交渉に市長自身が積極的に関与する考えはあるのか。 (5) 防衛省に対し、西之表市としてではなく、「西之表市民の代表として、現予定地での自衛隊宿舎建設を望んでいる」「自衛隊員並びにその家族の皆さんにぜひ西之表市に住んでいただきたい」という西之表市民の思いを、市長自身の言葉で伝える考えがあるのか。	

発言 順位	質問者	質問の件名	質問の要旨	時間
9	長野広美 〔12〕	1 電子地域通貨事業について	(1) 導入からこれまでの成果と課題は。	(70分)
			(2) プレミアム商品券発行事業との比較で、どのような違いがあるのか。	
			(3) 物価高騰対策事業等でたねP a y利用の際、使用できない市民についてはどのような対策で不平等性を是正するのか。	
		2 しおさい留学受入れについて	(1) 今年度の受け入れ実績と課題は。	
			(2) これまでに親子留学関係者から居住環境の不備に不満の声があり、また各校区の実行委員会の負担軽減のためにも、快適な居住環境が整った住宅確保の支援強化を求む。	
		3 港町再生事業について	(1) 基本構想と中核施設建設の今年度進捗状況及び今後の建設計画の見通しを問う。	
			(2) 長期振興計画・まち・ひと・しごと創生総合戦略での予算確保を含む位置づけを問う。	
		4 馬毛島問題について	(1) 下西地区の自衛隊官舎建設を目的とした土地の売買に伴う問題点及びごみ処理並びに調査の経費負担を本市がする事について法的根拠並びに是非についての見解を問う。	
			(2) 売却以降の防衛省との交渉について、議会及び市民への説明が不十分であり、非公開とする理由を問う。	
			(3) 官舎建設に係る本市の負担金及びこれまでの混乱について、市長の責任を問う。	
		5 市が支払うべき報酬及び旅費について	(1) 人事院勧告による職員及び会計年度任用職員の給与が昨年度大幅に改定されおり、さらに物価高騰が続く中で、適正な報酬や旅費の見直しを問う。	
		6 漁業振興について	(1) 地元での水揚げ高の推移について説明を求む。	
			(2) 次世代につなぐための主な漁業振興策の内容と、陸上養殖に向けた可能性調査の重要性についての見解を問う。	

発言 順位	質問者	質問の件名	質問の要旨	時間
10	杉為昭 〔4〕	Ⅰ 令和 8 年熊本地震の教訓を踏まえた離島 ・西之表市の災害対策について	本市は離島である。大規模災害時に必要な水、食料、燃料、医薬品、復旧作業員、給水車などが本土から直ちに入ってくるとは限らない。港が被災する、空港が使えない、道路が寸断される、さらに悪天候が重なれば、島外からの支援が数日間十分に届かない可能性もある。したがって西之表市には、「支援が来るまでの時間を、島の中だけでどう乗り切るのか」という離島特有防災対策が必要である。そこで、熊本地震の教訓を踏まえ、本市の備えについて伺う。 (1) 大規模災害が生じた場合の市民の水の確保について ア 熊本地震では長期間にわたる断水が大きな問題となった。水は飲料水だけではない。病院、介護施設、避難所、トイレ、炊き出しなど災害対応のあらゆる部分に必要である。西之表市の水道施設について、取水施設、浄水場、配水池、基幹管路等の耐震化状況を、市はどのように認識しているのか。また、大規模災害が発生した場合、市が最も弱点になると考えている水道施設はどこなのか伺う。 イ 仮に市内の広い範囲で断水した場合、現在保有している給水車、給水タンク、給水袋等によって、市民何人に、何日間程度の水を供給できる想定なのか、具体的に伺う。 ウ 本土から給水車を派遣してもらう計画があったとしても、港が使用できなければ給水車自体が島に入れない。悪天候による船舶欠航まで重なった場合、島外から水が来ないことを前提とした備えはできているのか伺う。 (2) 「要配慮者利用施設」、並びに水を取りに行けない人への対応について ア 種子島医療センターをはじめ、市内の医療機関、介護施設、福祉施設、各学校について、大規模断水時に必要となる水の量や、非常用電源、燃料備蓄の状況を、市としてどの程度把握しているのか伺う。 イ 市民への一般給水とは別に、医療・介護・福祉施設を優先して給水する計画が具体的に定められているのか伺う。 ウ 災害時には給水所を設置しても、高齢者、障害のある方、要介護者、車を持たない方など、自分で水を取りに行けない市民が必ず出てくる。その方々へ誰が水や食料を届けるのか。市、消防団、民生委員、自主防災組織、社会福祉協議会等の役割分担はできているのか伺う。	(70分)

発言 順位	質問者	質問の件名	質問の要旨	時間
			(3) 指定避難所での長期避難について ア 本市の指定避難所のうち、停電時でも非常用電源等によって冷房を使用できる施設は何箇所あるのか伺う。 イ 断水した場合のトイレについて、携帯トイレ、簡易トイレ、仮設トイレ等を、想定避難者数に対して何日分確保しているのか伺う。 ウ 大規模災害で避難所へ行かず、自宅や車の中で生活する在宅避難者、車中泊避難者も多数発生する。こうした方々をどう把握し、水、食料、生活用品、医療情報をどう届けるのか。現在の地域防災計画で十分対応できているのか伺う。 エ 避難所に来た人だけを把握しては、本当の被災者数は把握できない。特に本市は高齢化が進み、集落が市内各地に点在している。「避難所に来ない被災者を誰が確認するのか」まで、地区単位で決めておく必要があるのではないか。 (4) 港が使えない場合の食料燃料品の確保について ア 本市では、食料、飲料水、燃料、医薬品などについて島外から物資が入ってこない状況を何日間想定して備蓄しているのか伺う。 イ 特に燃料について、消防車、救急車、給水車、災害対応車両、医療機関、避難所発電機等へ優先供給する体制はできているのか。また、市内ガソリンスタンドが停電した場合でも給油できる体制を把握しているのか伺う。 ウ 西之表港が使用できない場合、ほかの港、漁港、種子島空港、自衛隊等を活用した代替輸送ルートについて、具体的な想定はあるのか伺う。 エ 支援物資が島に届いた後も、トラック、運転手、燃料、人員がなければ各地域へ届けられない。港や空港から市民の手元まで運ぶ「最後の物流」まで計画されているのか伺う。 (5) 熊本地震を踏まえた西之表市の防災体制の総点検について ア 令和 8 年熊本地震で明らかになった課題を西之表市に当てはめ、水、医療・介護、避難所、要配慮者、在宅避難者、燃料、食料、港湾、物流、通信、行政機能、島外からの受援体制などについて、全庁的な防災総点検を実施する考えはないか。	

発言 順位	質問者	質問の件名	質問の要旨		時間
			イ	単に現在の計画を読み直すだけではなく、「実際に災害が発生した場合に何が不足するのか」「どの施設や機能が止まる可能性があるのか」「本土から支援が来ない場合、何日持ちこたえるのか」という実効性の面から検証する必要があると考えるが、市長の認識を伺う。	
			ウ	総点検の結果、何が不足しているのか、何を優先するのか、いつまでにどの程度整備するのかを明確にした行動計画を策定する考えはないか伺う。	
			エ	市の職員や要配慮者利用施設の職員も含め被災者となる可能性もあるわけだが、想定した上での様々な支援体制は考えているのか。	
		2 離島における子どもたちのスポーツ機会の確保とスポーツ交流・施設環境の充実について	離島に暮らす子どもたちにとって、スポーツ活動が続けていく上では、本土地域にはない大きな負担がある。「離島に住んでいるということによって子どもたちが挑戦する機会を諦めることがあってはならない」と考える。また、本市には温暖な気候や豊かな自然環境があり、スポーツ合宿や大会を通じて島外から子どもたちが来られているし、今後増える可能性もある。しかし、島外から選手を受け入れるのであれば、移動手段や競技施設の環境、安全性についても整えていかなければならない。		
			(1) 島外大会・遠征に伴う費用負担の軽減について		
			ア	市は現在、スポーツ少年団や中学生・高校生等が島外の大会や遠征に参加する際、どのような支援を行っているのか。また、その支援によって離島特有の経済的負担が十分軽減されていると認識しているのか伺う。	
			イ	今後、船賃、航空運賃、宿泊費、車両航送費など、離島であることによって生じる追加的な費用に重点を置いた支援制度を拡充する考えがないか伺う。	
			(2) 島外から合宿や大会で訪れる子どもたちへの送迎支援について		
			ア	市はスポーツ合宿や大会等で島外から子どもたちを受け入れることについて、交流人口拡大や地域活性化の観点からどのように考えているか。	
			イ	市が所有する車両の活用や、民間事業者との連携などにより、港や空港から宿泊施設・競技施設までの送迎を支援する仕組みを検討する考えはないか伺う。	

発言 順位	質問者	質問の件名	質問の要旨	時間
			(3) 市民体育館や小・中学校体育館への冷房設備の整備について ア 市民体育館や小・中学校体育館への冷房設備の設置について、市は現在どのように考えているのか。具体的な検討を行っているのであればその状況を伺う。 イ スポーツ施設としてだけでなく、災害時の避難所機能、熱中症対策、島外からの大会・合宿受け入れという観点も含め、冷房設備の整備を進める考えはないか。 (4) 以前質問した安納の市営球場の整備について ア 以前の一般質問以降、市は安納の市営球場について、いつ現地確認を行いどのような整備や改善を実施したのか。具体的に答弁を求める。 イ 現在、市は安納の市営球場について、子どもたちが安心して競技できる安全な状態にあると認識しているのか伺う。 ウ 十分な整備ができていないのであれば、その理由は何か。また、今後いつまでに、どのような改善を行う考えなのか伺う。	